

視聴覚教育

視聴覚機器保有調査の報告

現職研修委員会学習情報部研修部会

学習情報部研修部会では、平成28年8月に各学校の視聴覚機器の保有状況を調査した。詳細は年度末に刊行される「岡崎の視聴覚教育 第48号」に掲載されるが、ここではその調査結果について概要を述べる。

主なデジタル機器の1校あたりの平均保有数は【表1】のとおりである。教材提示装置について、8割以上の学級に整備されている学校は、小学校で41校、中学校で8校に達している。また、液晶プロジェクターでは、低光量のものから、体育館でも利用できる高光量なものに買い替える学校が増えており、体育館等の広い会場での利用に対するニーズが高まっていることが分かる。しかし一方で、教室で使いやすい液晶プロジェク

主なデジタル機器の平均保有数【表1】

機器名	小学校	中学校	小中全体
教材提示装置(書画カメラ)	15.8 (15.6)	11.5 (11.6)	14.5 (14.4)
HDDデジタルビデオカメラ	2.1 (2.0)	2.6 (2.6)	2.3 (2.2)
液晶プロジェクター (3500ルーメン以上)	0.7 (0.6)	0.9 (1.0)	0.7 (0.7)
デジタル一眼レフカメラ	1.1 (1.1)	1.7 (1.7)	1.3 (1.3)

単位は、台()内の数字は昨年度の平均保有数

NO. 428

発行日

28. 12. 21

発行

岡崎市A V L

編集

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる!?

『ルーメン』

液晶プロジェクターの明るさ(輝度)を表す単位。液晶プロジェクターには、2000 から 7000 ルーメン程度まで、様々な製品がある。体育館など広い会場での使用を考えると、3500 ルーメン以上の明るさがあるものを整備するとよい。

ターを求める声も聞かれる。設置場所の制限が多い普通教室では、スクリーンの近くに設置できる単焦点プロジェクターが便利である。教室で利用するプロジェクターの整備を検討している学校は、購入の候補に挙げるとよい。

主な購入希望機器は

【主な購入希望機器【表2】

機器名	希望校数
デジタル一眼レフカメラ	9校
HDDデジタルビデオカメラ	7校
ワイヤレスアンプ(CD付き)	7校
デュプリケーター	6校
短焦点プロジェクター	5校
教材提示装置	5校

【表2】のとおりである。数年来続いている傾向として、デジタル一眼レフやデジタルビデオカメラの需要が高くなっている。しかし、今年度は、少数ではあるが、集音マイクや音響ミキサーなど、音響機器に関する購入希望が見られる。機器の老朽化や新たな需要に合わせて、計画的な整備を進めようとしていることを示している。音響機器には、高額備品に該当するものが多く、一度に整備することは困難である。各学校において、数年先を見通し、計画的に機器整備を進める必要がある。各校で機器整備を進める際には、ぜひ本調査結果を参考にし、短期的・長期的な計画の下に整備を行っていただきたい。

Ⅱ視聴覚教育あれこれⅡ

●自作視聴覚教材の活用

自主研修サークル「おかざき映像教材研究会」制作の教材がもうすぐ完成します。いずれも授業での使いやすさを考えて作られた教材ばかりです。二月の学習情報主任会において、全教材を収録したDVDを配付する予定です。これまでに配付した教材も含め、積極的に御活用ください。

A班『持続可能な社会を目指して』

対象 人と野生生物の共生 対象 人と野生生物の共生

対象 人と野生生物の共生 対象 人と野生生物の共生

対象 人と野生生物の共生 対象 人と野生生物の共生

対象 人と野生生物の共生 対象 人と野生生物の共生

対象 人と野生生物の共生 対象 人と野生生物の共生

対象 人と野生生物の共生 対象 人と野生生物の共生

対象 人と野生生物の共生 対象 人と野生生物の共生

対象 人と野生生物の共生 対象 人と野生生物の共生

対象 人と野生生物の共生 対象 人と野生生物の共生

対象 人と野生生物の共生 対象 人と野生生物の共生

対象 人と野生生物の共生 対象 人と野生生物の共生

対象 人と野生生物の共生 対象 人と野生生物の共生

対象 人と野生生物の共生 対象 人と野生生物の共生

対象 人と野生生物の共生 対象 人と野生生物の共生

対象 人と野生生物の共生 対象 人と野生生物の共生

Ⅱ実践報告Ⅱ

藤川のよさを発信する子供

藤川小学校 中根 聡

藤川小学区民は、宿場町としての歴史と文化に富むこの地域の歴史を地域全体で守り育てようという熱い思いをもっている。本校の子供たちも、学区民の一人として、藤川宿を誇りに思い、藤川の歴史や文化の発信に取り組んでいる。

その一環として、毎年五月に開催されている「むらさき麦まつり」では、来場した方々に、六年生が「藤川宿ガイド」を行っている。案内時には、総合的な学習の時間で、六年生自身が藤川宿跡へ調査に出かけた際にデジタルカメラで撮影した写真を使用した。デジタルカメラでは一枚のカードに大量の写真を保存できるので、枚数を気にすることなく、興味をもった対象を自由に撮影できる。その中から、子供たち自身が使いたい写真を選び、伝えたいことがよりよく伝わるように文字を入れるなどの加工を施した。こうして用意された写真を使ったことにより、「むらさき麦まつり」では、「ガイドが分かりやすい」と好評だった。

この取組をさらに広めるために、十月に行われた授業実践協議会の全体会でも、藤川宿ガイドを行った。ここでも、自分たちの撮影した写真を使って藤川宿を伝えることができた。

デジタルカメラは、子供に、



「自分が伝えたいことを準備・表現する過程」を手軽に経験させられる手段の一つである。積極的に利用し、子供たちの伝える力を高めたい。

Ⅱレッツ・トライ！ICTⅡ

今回使用したソフト・機材

「キューブきつず4」

パソコンクラブで「キューブきつず4」を利用してポスターを制作した。この「キューブきつず4」にはたくさんのテンプレートが用意されており、子供たちはそれを利用して、手軽にポスター制作をすることができ、しかも、作品の完成例を提示することもできるので、子供たちに制作の見通しを具体的にもたせることもできる。

ポスターで知らせ

たい内容は、入部前の四年生に向けた部活動紹介や、学級の係や委員会からのお知らせなど多岐に渡る。豊富なテンプレートからイメージに合うものを選ぶことで、子供たちは多様なポスターを作成できた。また、制作手順のガイドに従って操作していけば短時間で完成するので、制作時間の見通しが立てやすい。ちなみに、今回の制作でかかった時間は、文章入力や写真の取込を含めて約二時間であった。

パソコンの操作に慣れている子供には「お絵描き」機能で描いた絵を取り入れさせるなどして、より手の込んだ作品に取り組ませた。このように、テンプレートを基本にしつつも、個別の技能レベルに応じて、より質の高い作品制作に取り組ませることもできる。このような発展性をも併せ持つ「キューブきつず4」の利用をお勧めする。



(緑丘小学校 学習情報主任 鈴木 和一)

ライブフリーだよ

●教育行事映像の記録と提供について

視聴覚ライブラリーでは、岡崎市内で開催される各種教育行事の記録を行っています。撮影した映像は、編集してCATVミクス「チャンネルおかざき」に番組配信しています。(放送時間 毎日午前10時～正午の2時間)平成28年度も、市内小中学校の市委嘱研究発表会をはじめ、葵三大イベントなどの記録番組を制作しています。制作した番組は、「チャンネルおかざき」への配信だけでなく、DVDへのダビングサービスも行っていますので御利用ください。

◇平成28年度の主な制作番組

- ・第60回岡崎市中学校総合体育大会
- ・第58回岡崎市中小学生英語スピーチフェスティバル
- ・第30回岡崎市中学生の主張コンクール
- ・第63回理科、第43回技術家庭科作品展
- ・第53回造形おかざきつ子展
- ・第44回岡崎のハーモニー

●「第14回ふるさと岡崎メディアコンクール」

たくさんさんの御応募ありがとうございました。当コンクールに二四〇点を超える教材・作品が応募されました。児童生徒や先生方の積極的な御参加、ありがとうございました。コンクールの結果については、二月発行の当紙面上で発表し、応募者全員に報告(郵送)いたします。入賞作品は、愛知県自作視聴覚教材コンクールへ出品します。